

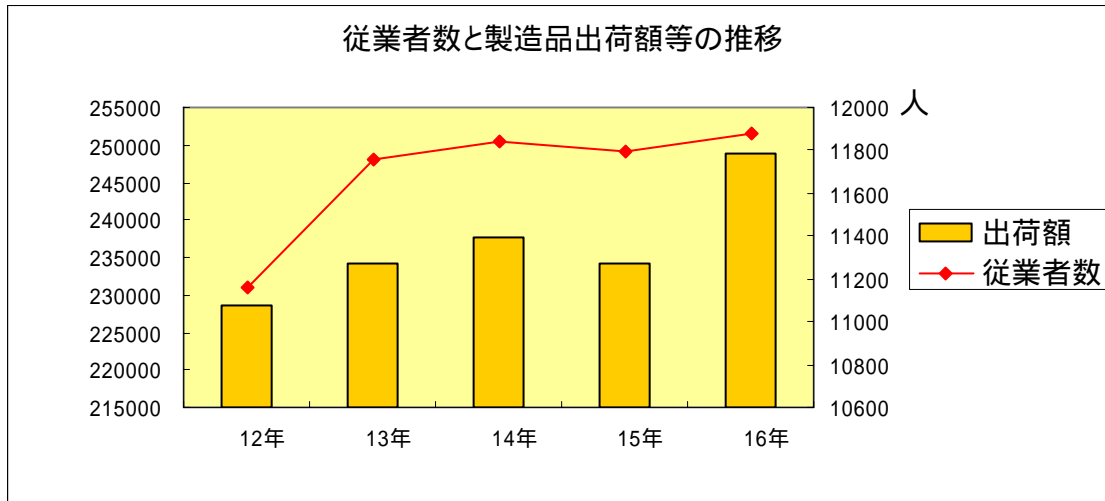
【調査結果の概要】

従業者4人以上の事業所

「概況」

事業所数 526事業所（前年比6.1%減、34事業所の減）
従業者数 11,880人（同比0.7%増、87人の増）
製造品出荷額等 2,489億7,970万円（同比6.3%増、148億5,892万円の増）

	事業所数 （件）	従業者数 （人）	製造品出荷額等 （万円）
平成12年	611	11,158	22,866,296
平成13年	596	11,762	23,430,379
平成14年	568	11,844	23,757,255
平成15年	560	11,793	23,412,078
平成16年	526	11,880	24,897,970



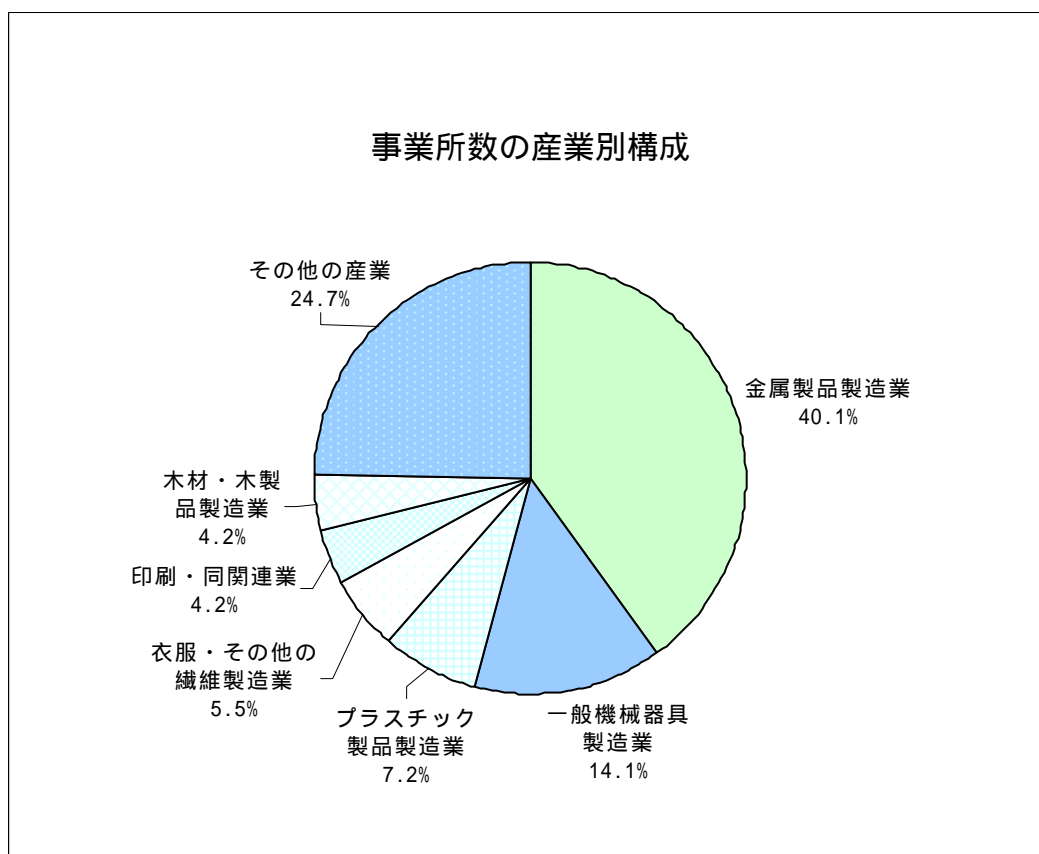
1 事業所数

13年連続して減少

事業所は526事業所で、前年に比べ34事業所（6.1%）減少し、13年連続で減少が続いている。

産業別に前年と比較すると、増加した産業は、食料品製造業など5産業で6事業所、一方減少した産業は、金属製品製造業など6産業で40事業所となっている。中でも、金属製品製造業の減少が大きかった。

産業別構成比...	金属製品製造業	211事業所	40.1%
	一般機械器具製造業	74事業所	14.1%
	プラスチック製品製造業	38事業所	7.2%
増加産業...	食料品製造業	2事業所	
	木材・木製品製造業、印刷・同関連業、電気機械器具製造業、精密機械器具製造業	各1事業所	
減少産業...	金属製品製造業	23事業所	
	一般機械器具製造業	7事業所	
	衣服・その他の繊維製品製造業	5事業所	



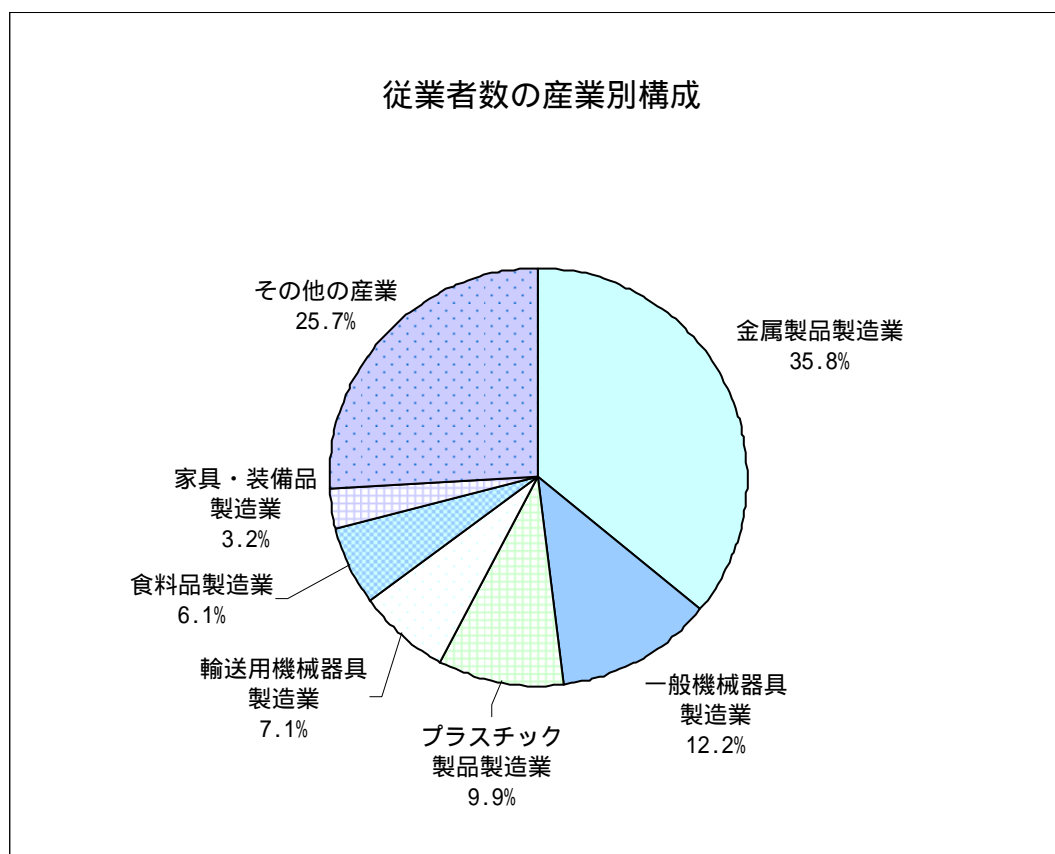
2 従業者数

増加した従業者数

従業者数は11,880人で、前年に比べ87人（0.7%）増加した。

産業別に前年と比較すると、増加した産業は、輸送用機械器具製造業124人増、プラスチック製品製造業86人増など10産業あり、一方、金属製品製造業が162人と大きく減少した他、精密機械器具製造業39人減など8産業で減少した。

産業別構成比...	金属製品製造業	4,248人	35.8%
	一般機械器具製造業	1,450人	12.2%
	プラスチック製品製造業	1,172人	9.9%
増加産業...	輸送用機械器具製造業	124人	
	プラスチック製品製造業	86人	
	一般機械器具製造業	52人	
減少産業...	金属製品製造業	162人	
	精密機械器具製造業	39人	
	電気機械器具製造業	14人	



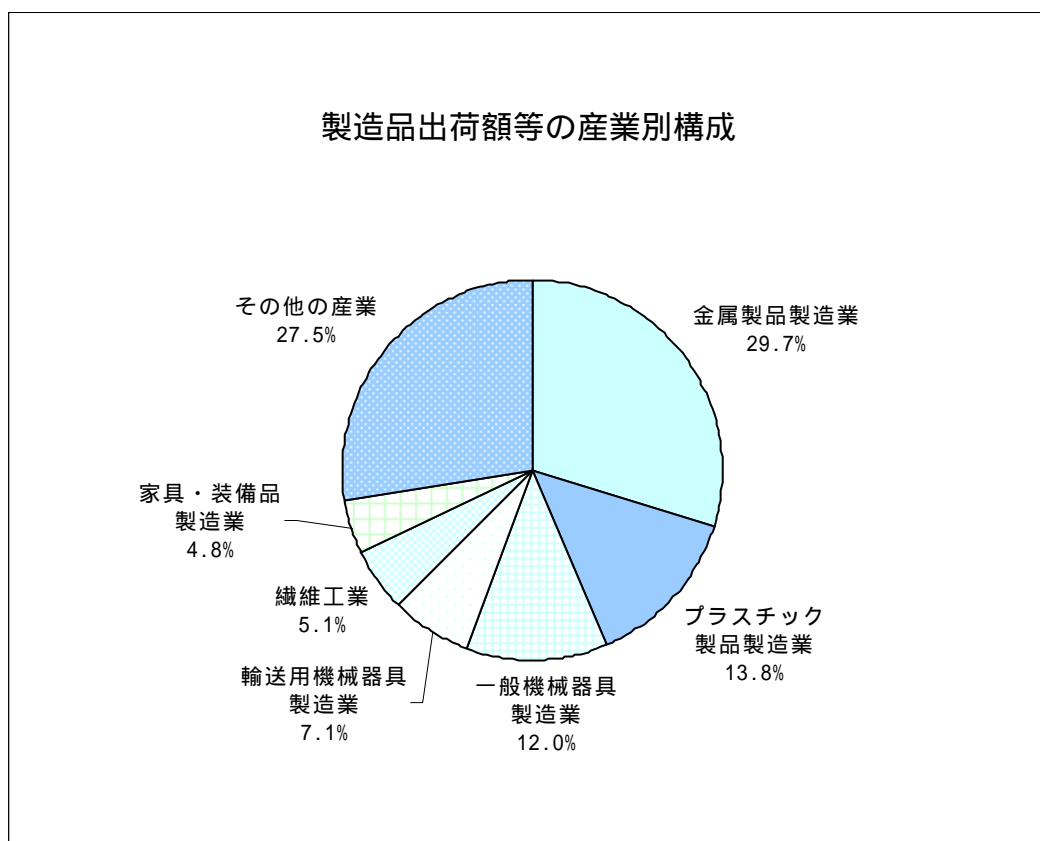
3 製造品出荷額等

1 7 産業で増加した製造品出荷額等

製造品出荷額等は、2,489億7,970万円で、前年に比べ148億5,892万円(6.3%)の増加となった。

産業別に前年と比較すると、一般機械器具製造業で75億9,815万円増、プラスチック製品製造業23億4,006万円増など17産業で増加した。減少した産業は、食料品製造業13億5,774万円減、窯業・土石製品製造業7億7,952万円減など6産業となった。

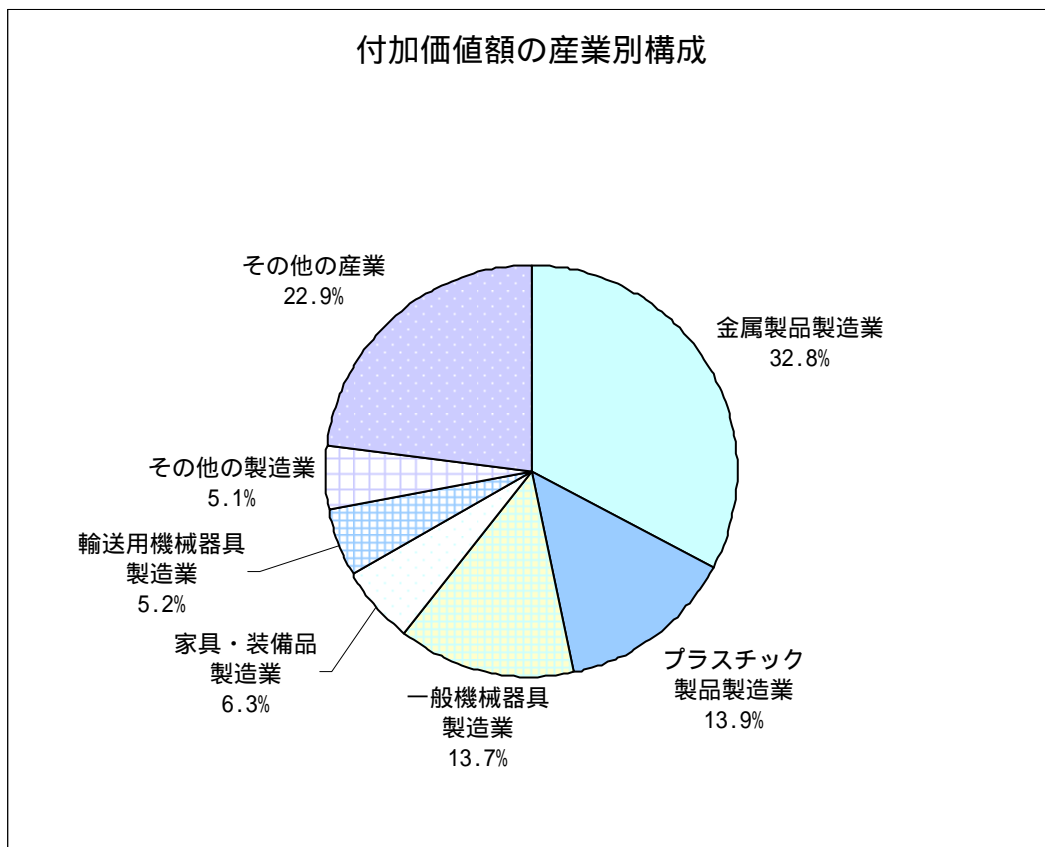
産業別構成比...	金属製品製造業	738億5,963万円	29.7%
	プラスチック製品製造業	343億8,109万円	13.8%
	一般機械器具製造業	298億4,192万円	12.0%
増加産業...	一般機械器具製造業	75億9,815万円	
	プラスチック製品製造業	23億4,006万円	
	輸送用機械器具製造業	18億6,613万円	
減少産業...	食料品製造業	13億5,774万円	
	窯業・土石製品製造業	7億7,952万円	
	金属製品製造業	5億8,935万円	



4 付加価値額

付加価値額は、1,097億6,304万円で、前年に比べ52億3,884万円（5.0%）の増加となった。前年と比較すると増加した産業は、一般機械器具製造業27億1,018万円増、次いで繊維工業7億3,449万円増など16産業となっている。一方減少した産業は、食料品製造業3億3,788万円減、窯業・土石製品製造業2億1,698万円減など7産業となっている。

産業別構成比...	金属製品製造業	359億8,833万円	32.8%
	プラスチック製品製造業	152億8,280万円	13.9%
	一般機械器具製造業	150億1,897万円	13.7%
増加産業...	一般機械器具製造業	27億1,018万円	
	繊維工業	7億3,449万円	
	印刷・同関連業	5億5,901万円	
減少産業...	食料品製造業	3億3,788万円	
	窯業・土石製品製造業	2億1,698万円	
	ゴム製品製造業	5,478万円	



5 生産性

労働生産性（従業者1人当たりの製造品出荷額等）は、平均2,096万円となり、前年に比べ111万円(5.6%)の増加となった。また、付加価値生産性（従業者1人当たりの付加価値額）は、平均924万円となり、前年に比べ38万円(4.3%)の増加となった。

産業別に前年と比較すると、労働生産性は、木材・木製品製造業486万円増、一般機械器具製造業467万円増など15産業で増加した。一方、窯業・土石製品製造業262万円減、食料品製造業218万円減など7産業で減少した。また、平均より高いのは、繊維工業9,066万円など10産業、一方低いのは、衣服・その他の繊維製品製造業868万円など13産業となっている。また、付加価値生産性は、繊維工業524万円増など15産業で増加し、プラスチック製品製造業85万円減など8産業で減少した。

6 産業別製造業の生産

基礎素材型産業が60.3%を占める

製造業がどのようなものを製造しているのか、製造業を大きく3つの産業型に分け、それぞれの事業所数の相対的な割合を見ると、基礎素材型産業が60.3%、加工組立型産業が20.7%、生活関連・その他型産業が19.0%となっている。

岐阜県全体では、基礎素材型産業が46.6%、加工組立型産業が20.4%、生活関連・その他型産業が33.0%となり、関市は基礎素材型産業が全体の中で占める割合が高くなっている。

7 20市の状況

[事業所数]

関市の事業所数は、岐阜市に次いで2番目に多い。前年と比較すると、岐阜県の20市すべてで減少し、20市で597事業所減少した。特に岐阜市の136事業所の減少が大きく、他に土岐市、各務原市、羽島市の減少も大きかった。

[従業者数]

従業者数は、岐阜市など11市で減少したが、関市など9市で増加した。中でも可児市や中津川市の増加は大きかった。

[製造品出荷額等]

製造品出荷額等については、各務原市など7市で減少したものの、関市を始め13市で増加し岐阜県全体でも2年連続で増加した。関市は中津川市の3億2,284万円の増加に次いで高い増加となった。

【調査結果の概要（武儀郡）】

洞戸村	12件（対前年比 増減なし）
板取村	5件（対前年比25.0%増 1件増）
武芸川町	55件（対前年比 8.3%減 5件減）
武儀町	37件（対前年比14.0%減 6件減）
上之保村	8件（対前年比27.3%減 3件減）

5町村全体で130事業所あり、岐阜県全事業所の1.6%にあたる。

2 従業者数

洞戸村	175人（対前年比 3.6%増 6人増）
板取村	39人（対前年比14.7%増 5人増）
武芸川町	1,139人（対前年比 7.2%減 88人減）
武儀町	355人（対前年比 2.7%減 10人減）
上之保村	82人（対前年比24.1%減 26人減）

5町村全体で1,790人であった。1事業所当たりの平均従業者数を見ると、洞戸村14.6人、板取村7.8人、武芸川町20.7人、武儀町9.6人、上之保村10.3人であり、武芸川町が他の町村より高い。

3 製造品出荷額等

洞戸村	38億2,939万円（対前年比20.1%増	6億4,115万円増）
板取村	2億3,086万円（対前年比49.4%増	7,633万円増）
武芸川町	229億9,717万円（対前年比 2.4%増	5億3,493万円増）
武儀町	51億6,402万円（対前年比18.9%増	8億1,938万円増）
上之保村	14億2,271万円（対前年比64.1%増	5億5,566万円増）

5町村全体で336億4,415万円あり、7割近くを武芸川町が占めている。